



県営中城公園
ニュースレター
2018年 7月号

くもぐす

公園からのお知らせ

南遊具広場、トランポリンの下に設置されているローラーすべり台のローラーが破損したため、使用禁止にしています。修繕して、使えるようにしたいと思っています。しばらくお待ち下さい。



この夏、南からやってきたチョウ

クロマダラソテツシジミ



クロマダラソテツシジミが沖縄島で最初に記録されたのは199年10月27日、那覇空港でのこと。植栽されたソテツに発生したらしい。翌年の秋にも那覇空港で発生し、那覇市奥武山、南城市親慶原でも記録され、199年3月までいた。その後飛来は途絶えてましたが、200年8月に記録されてから、毎年のようにソテツの新芽が豊富な初夏に飛来、大発生が続き、とと本州では千葉県まで記録されるまでになった。ソテツの葉を幼虫が食べるため、葉がボロボロ、観賞価値がなくなることから、このチョウは「小さな悪魔」とまで呼ばれている。今年はどこまで北上するのか、興味津々だ。



ソテツの葉を食べる幼虫 ボロボロになったソテツの葉

ルリカラナシジミ



タイワンクスズに産卵する雌

シジミ科ルリカラナシジミは、最近毎年のように南からやってきている。分布は八重山で宮古には棲息していない。今年6月26日、公園内のギンネム葉上に止まっているのを見つけた。発生が継続するのが楽しみ。

2015年は11月12日、2016年は6月17日、2017年は6月28日に記録された。飛来したら、幼虫の食べるマメ科植物の花・莢があるのかが必要だ。調べて見たら、オオヤブツルアズキ、シナガワハギ、マルバダケハギ、ナンバンアカバナアズキ、シロソメクサ、ライマメ等が開花中を確認している。確認していないが、森ではタカナタマメも咲いているはず。

大発生するのは秋。理由はクロヨナ、タイワンクスズの花が大量に咲くため、森中で無数の数がキラキラと飛翔する光景は格別だ。そう、雄は南米のモルフォチョウにも似て、光沢のあるチョウなのだ。

7月のイベント情報

中城公園文化講座「チョウの来る花の話」

開催日時：7月14日(土)9:30~11:00
場所：中城公園会議室
参加料金：500円(資料、保険等込み)
定員：20人(事前予約制、定員に達し次第締め切り)
講師：比嘉正一(学芸員)



約40年間のデータを集め、どのチョウが何の花に蜜を求めてやって来るのかを調べました。チョウ、虫、自然の好きな方、または花の好きな方におすすめです。

文化講座

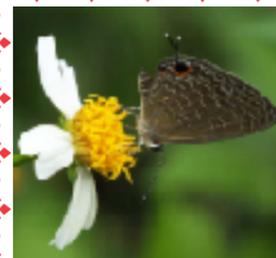
海の危険生物 沖縄県での被害と生態

日時：7月22日(日)13:30~14:30
場所：中城公園 会議室
料金：500円(定員30人)
講師：新城安哲(海洋危険生物研究会)



沖縄の海遊びで出会う危険生物の紹介と対処方法を詳しく解説致します。危険生物の被害の実態では今まで記録のあった事例を紹介し、種類と生態について解説し、被害の応急処置について説明します。被害を未然に防ぐには、どうすれば良いのか、また被害にあっても重傷にならないためにはどうすれば良いのかを解説します。

問い合わせ参加申し込みは 中城公園管理事務所 098-935-2666



県営中城公園ニュースレター くもぐす 2018年7月号

県営中城公園管理事務所
〒901-2315 沖縄県北中城村字荻道平田原 370-2
TEL(098)935-2666 FAX(098)935-3533

編集・発行 比嘉正一 okiryoku.org/park/